保護者 様〈家庭数配付〉

令和２年度９月調査　「学校評価に関するアンケート結果」

千葉市立高洲第三小学校
令和２年１０月２６日

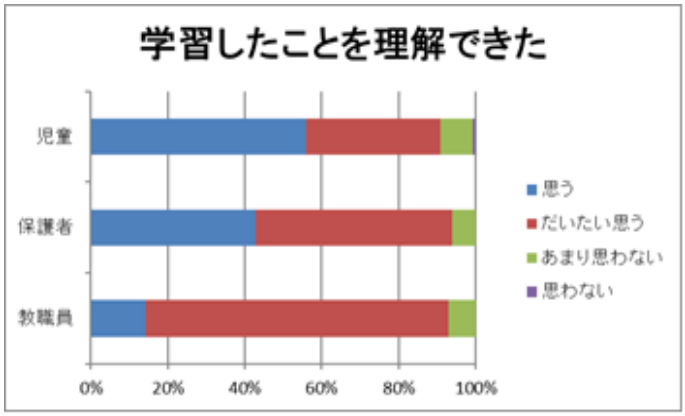
この調査は本校の学校教育目標「夢ひらきかがやく子」の実現を目指し、令和２年９月に「令和２年度学校評価に関するアンケート」として実施しました。アンケート調査は児童、保護者、教職員を対象として回答を得ました。

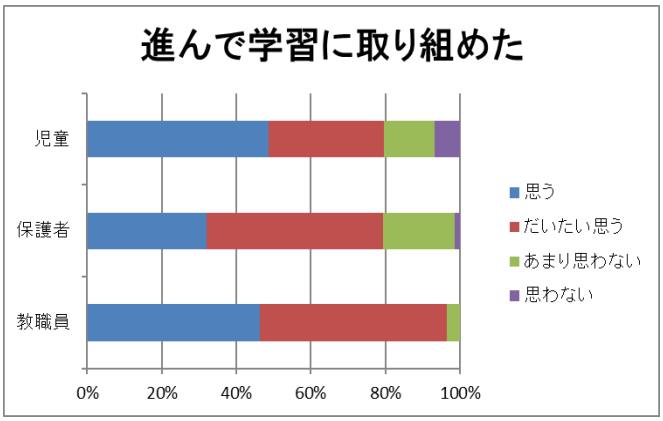
なお、今年度は新型コロナウイルスの影響により、通常登校が６月より開始されたため、教育活動の実施時期および実施内容が例年とは異なっておりますことをご理解ください。　※例年は７月実施

＜アンケートの集計結果について＞

・棒グラフの左から、「思う」「だいたい思う」「あまり思わない」「思わない」の４段階となっています。
・児童、保護者、教職員の評価結果をならべて表示し、数値を比較しています。

回答数：　児童　　３８２名　　教職員　２８名
　　保護者　２９２名（保護者アンケートの回収率　７４％　※昨年度８２％　）



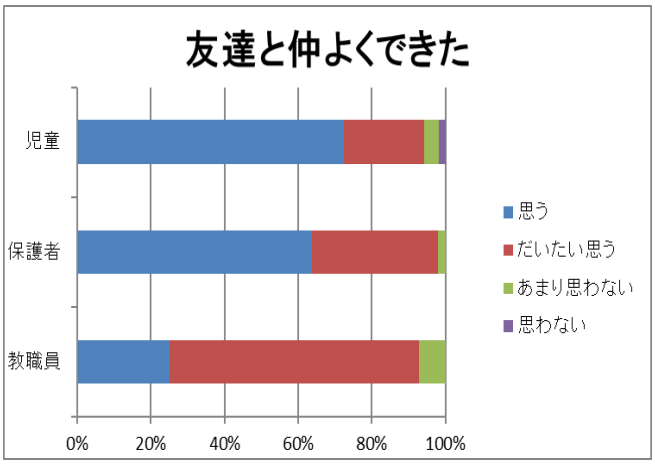


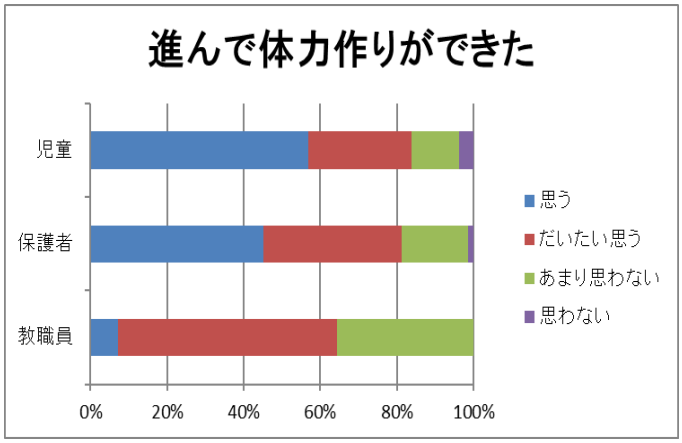
○学習面について

・約９０％の児童が学習内容を理解していると回答しています。保護者や教職員も、ほとんどの児童が学習したことをほぼ理解していると肯定的な評価をしています。
・教職員は、ほとんどの児童が進んで学習に取り組めていると肯定的な評価をしています。しかし、保護者は、もう少し積極的に学習に取り組んでほしいと考えています。また、昨年度は約９０％の児童が意欲的に学習に取り組めていると肯定的な回答をしていましたが、今年度は約８０％にとどまっています。
→休校期間中は家庭学習が中心で、自主的・計画的に学習を進めることが難しかったと考えられます。学校再開後も学習形態・内容に制限があり、「学習が楽しい」と感じる場面が少なかったと考えられます。安全を確保しながらも、ICT 機器や少人数指導等の活用を工夫し、学習意欲を高める授業づくりを心掛けていく必要があります。

○友達関係について

・児童、保護者、職員とも、ほぼ良好であると回答しています。しかし、約６％の児童、教職員が「あまり思わない」「思わない」と回答しています。
→人間関係に悩みやストレスを抱えている児童が少なからずいることをふまえ、担任との教育相談、スクールカウンセラーとの面談等を弾力的に行うことが効果的であると考えます。児童の言動の変化を見逃さず、おかしいと感じたら早めに保護者との連絡を取り、早期発見・早期解決をしていく必要があると考えます。





○運動面について

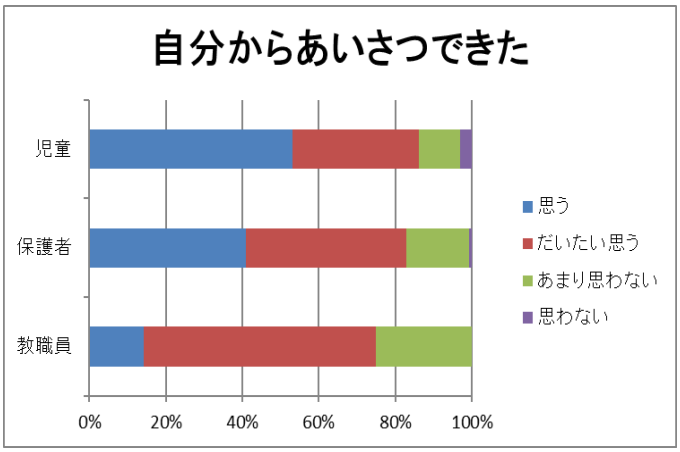
・肯定的回答をしている割合が、児童、保護者ともに約８０％であるのに対し、教職員は約６０％にとどまっています。

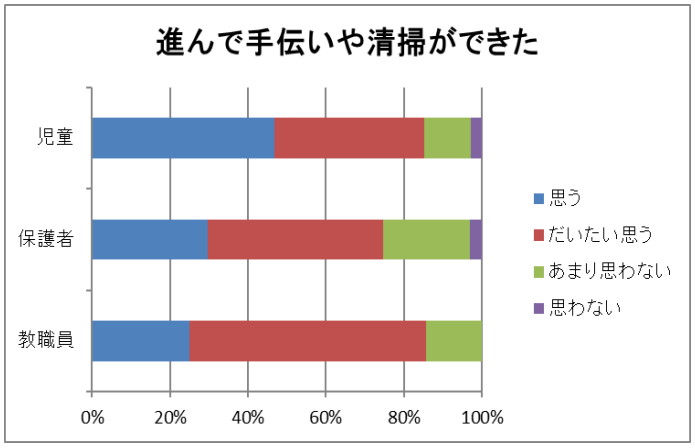
→今年度は水泳学習を実施できなかったこと、運動会を延期・縮小したことなどから、年間指導計画が大幅に変更となりました。縄跳びや鉄棒の指導に加え、後期は運動会や陸上大会（今年度は６年生のみ参加）の行事を通して、児童の体力向上に努めます。また、安全面に十分留意しながら、持久走や球技も弾力的に取り入れ、いろいろな領域の運動経験をさせることが大切であると考えます。

○挨拶について

・保護者の評価は昨年度と変わらず、おおむね良いとの評価が得られました。しかし、児童と教職員の肯定的な回答が昨年度はほぼ１００％でしたが、今年度は児童が約８５％、教職員が約７５％に減少しました。

→今年度は、マスクの着用や「大声を出さない」などの生活が習慣化していることが考えられます。小さな声でも挨拶する気持ち、会釈やアイコンタクト、児童によるあいさつ運動の大切さを見直し、「挨拶することが気持ちよい」と実感できるように指導を継続していきます。

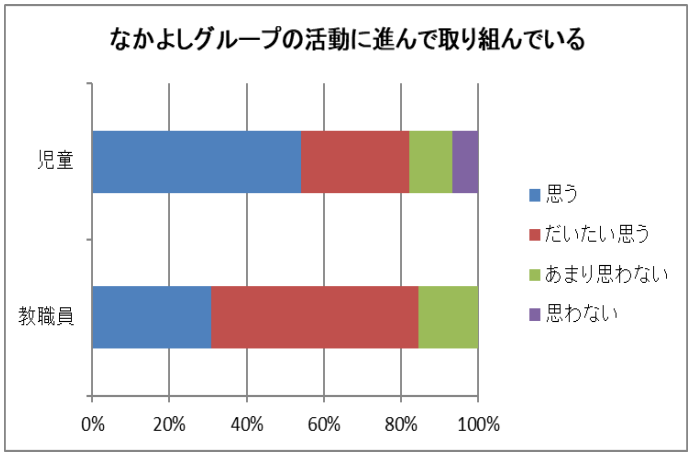




○手伝い・清掃について

・昨年度と同様、保護者、児童、教職員ともに８０％前後の肯定的回答が得られています。

→現状に満足せず、保護者や教職員は、さらに児童全員が積極的に手伝いや清掃に取り組んでほしいと感じています。進んで取り組む児童を、褒めて伸ばしていくことが大切であると考えます。

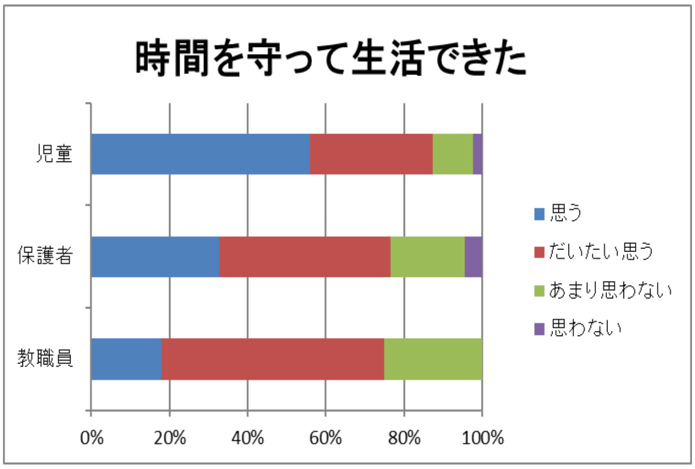


○たてわり活動（なかよしグループ活動）について

・教職員は、昨年度と同様に約８０％が進んで取り組んでいると回答しました。しかし、児童については、昨年度９０％を超えましたが、今年度は約７０％に減少しました。

・コロナウイルス感染拡大防止のため、活動が十分にできない学年については、「無回答」もありました。グラフは、回答を得られた人数のみを表しています。

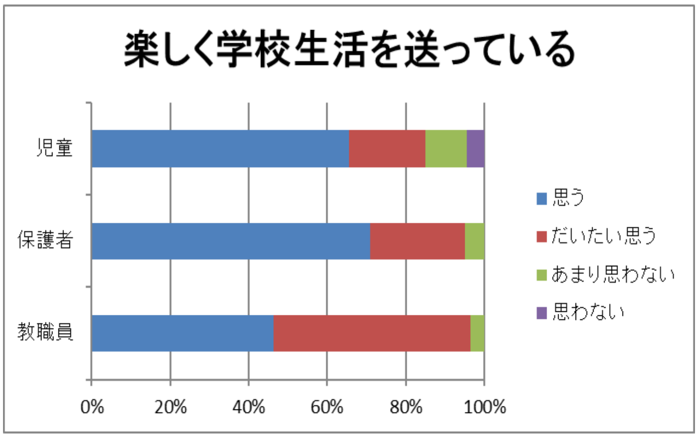
→今年度は、全校遠足や全校集会形式でなかよし活動が実施できなかったことが影響していると考えます。後期は、行事を通して近接学年同士で活動したり、校内テレビ放送を通して他の児童の活動を紹介したりしながら、全校児童のつながりや共感できる場を充実させることが必要であると考えます。　※保護者は調査なし



〇時間のけじめについて

・昨年同様９０％近い児童が肯定的な回答をしています。
・保護者、教職員は児童に比べると、もう少し時間をも守って生活してほしいと感じています。

→一昨年度から学校ではチャイムを鳴らす数を減らしたり、昨年度からは児童による放送内容を工夫したりしています。このように、時間を自己管理できるよう取り組んで来た成果が、徐々に表れていると考えられます。家庭での過ごし方や時間に関する決まり事などを、学校と家庭で連携を図りながら、双方で指導を継続していくことが大切であると考えます。



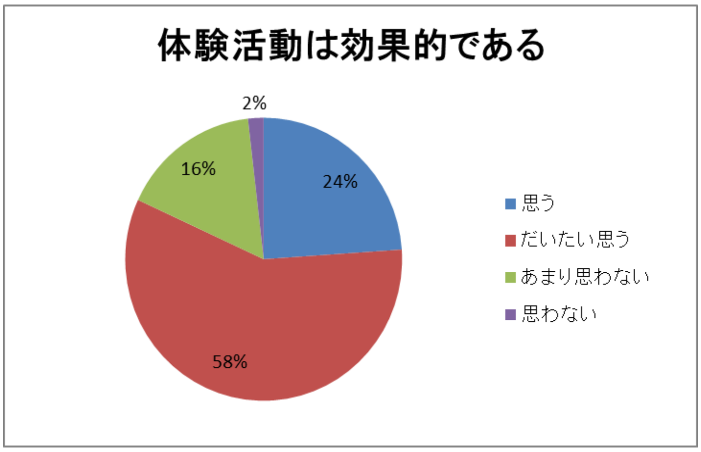
〇学校生活の過ごし方について

・肯定的な回答をした児童、保護者、教職員ともに昨年度と数値にほぼ変化はなく、ほとんどの児童が楽しく学校生活を送っていると感じています。
・「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した児童の割合が、昨年度の約１０%から４%に減りました。

→長い休校期間を経験し、学校で友達や教師などと過ごす生活を貴重な時間である、と再認識した児童も多かったと考えます。全ての児童が楽しく学校生活が送れるよう、「チーム学校」として保護者・地域の方とより連携し、一層個に応じた指導を心掛けます。

＊＊

【ここからの設問は保護者のみの調査】



〇体験活動について

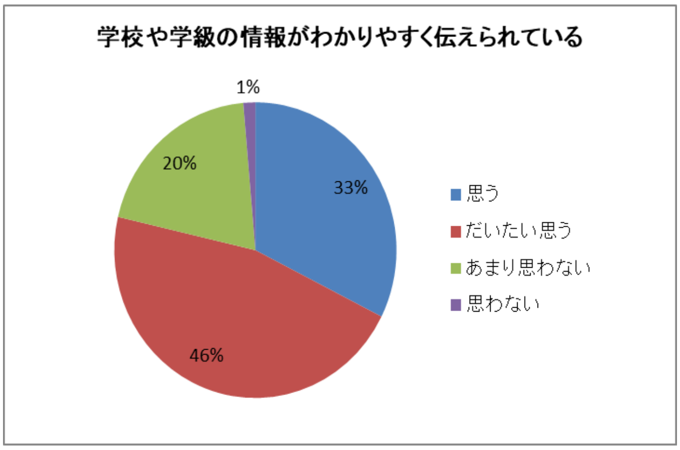
昨年度は肯定的な回答が９０％を超えていましたが、今年度前期は体験学習がほとんど実施できなかったせいか、８０%弱にとどまりました。

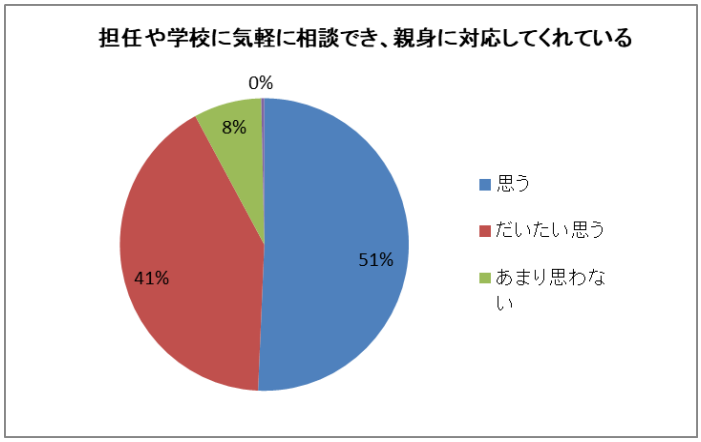
→後期は、安全を確保した上で、各学年で少しずつ体験活動を計画しています。昨年度の「文部科学省キャリア教育優良校表彰」の実績を生かして、学年での目的を明確にし、自ら考え進んで学ぶ子に育てていきたいと考えます。

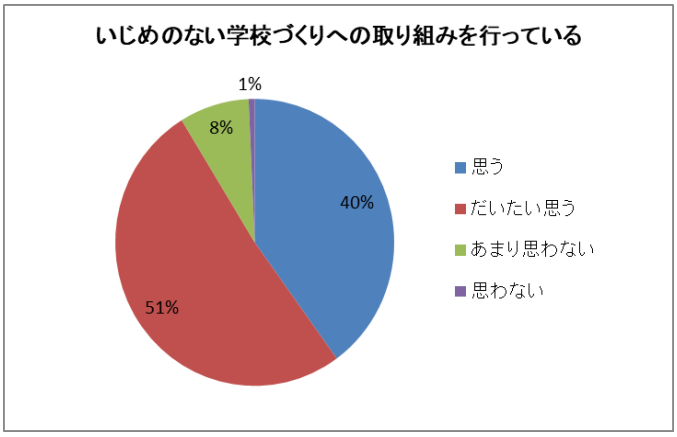
〇学校からの情報発信について

昨年度同様、約８０％の肯定的回答を得られました。

→今年度は、緊急の連絡や行事日程等の変更が相次ぎ、適宜、ご家庭に伝達するよう努めています。学校での児童の様子については、児童向けには校内テレビ放送や掲示物等で、保護者向けには学校連絡メール、学校ホームページやおたより等の様々な媒体を通して、さらにわかりやすい情報を提供していきたいと考えています。







両項目とも、昨年度と同様に約９０％の保護者の方々から肯定的な回答を頂きました。いじめについては、今年度も年２回のいじめ調査の結果を、紙面を通じて保護者の方にもお伝えしていきます。これからも「夢ひらきかがやく子」を育成するために学校・家庭・地域でより連携を深めていきたいと思います。ご協力お願いいたします。

＊＊

【自由記述設問での御意見について】

自由記述欄に２４名の方からご意見をいただきました。すべてのご要望にお応えすることは難しいのですが、よりよい学校の在り方について皆様と一緒に考えていきたいと思います。なお、自由記述の中には、本校の取組みや職員について、１１名の方からお褒めの言葉や励ましのお言葉をいただきました。これを励みにし、引き続き努力してまいる所存です。

Ｑ　コロナ禍の教育活動について

コロナ禍の中、学習の遅れが気になります。イベントが少なく、方法も模索されておられるとは思いますが、校外学習や社会科見学などに期待しております。また、家庭でのフォローを強化していきたいと考えております。

（同様のご意見　他１名）

Ａ　的確なご意見、また、ご家庭での取組まで考えてくださり、ありがとうございます。教育委員会からの通達や周辺の感染状況等を踏まえ、9月下旬から徐々に、近隣への校外学習や社会科見学、ゲストティーチャーによる講話や体験学習、外部団体を招いての文化的行事、運動会や陸上大会等の体育的行事に取り組んでおります。今後も、安全を確保した上で、効果的かつ充実感が味わえるような学習や行事を検討してまいります。引き続きご理解･ご協力のほどよろしくお願いいたします。

Ｑ　情報発信について

・学校のホームページをもう少し活用してほしいです。学校だよりなどを更新してほしいです。
・こちらのアンケート結果も HP で見られると助かります。モノクロの印刷ですと見にくいところもあります。
・手紙ではなく、メールを活用してください。情報も多すぎて大事なことを見落とします。
・学校から配布されるお手紙・メールは、誤字や情報の相違が大変多く見られ、少しモヤモヤします。

Ａ　貴重なご意見ありがとうございます。今年度はコロナのこともあり、急にご家庭に情報をお伝えすることも増えております。学校のホームページはできる限り更新を行い、このアンケート結果も含め、学校の様子をわかりやすくお伝えしてまいります。

現在、本校の学校連絡メールの登録率は１００％で、連絡ツールとしての利便性を承知しているところです。一方で、学級指導の時間に手紙を配付して担任と児童が共通理解を図りたい場合もあります。また、「メールだけでなく手紙も配付してほしい」というご意見もあります。ご指摘いただいた誤字や情報の相違に十分気を付けながら、適宜、メール・手紙・ホームページを活用して、ご家庭に正確な情報発信を心掛けてまいります。

以上、ご不明な点がございましたら、教頭　安齋までお願いいたします。